



# 河小だより

四日市市立河原田小学校  
第6号 令和4年 5月10日



土曜授業の代休もあり、長い連休となりました。今年は緊急事態宣言やまん延防止対策措置が発出されていない連休となりました。連休中の観光地の様子を見ると日常が戻りつつある一方、感染者数はまだまだ高い推移が続いています。学校教育活動でも、少しずつ日常の取り組みに戻しつつも感染症対策をしながらの対応となります。

ご家庭での検温、体調管理等引き続き、ご協力よろしくお願いします。

## 感染症対策について

\*児童に発熱等の風邪症状のある時には自宅での休養をお願いします。

\*児童の様子で日頃と比べて少しでもおかしいと思われる症状があるときには、医療機関の受診をするようお願いします。

\*児童と同居する家族に発熱等の症状が見られる場合は、登校を控えていただきますようお願いいたします。

\*これから暑くなってきます。マスクが汗で濡れてしまう場合も考えられますので、予備のマスクも持ってくるようお願いします。

\*暑さで息苦しくなった場合には、十分な身体的距離をとるようにしてマスクを外すようにしてください。マスクを外した場合には会話は控えるようにしてください。

- 本人が感染した場合または濃厚接触者となった場合
  - 同居家族が感染した場合、または濃厚接触者や検査対象者となった場合
  - 発熱等の風邪症状がみられる場合
  - 本人に症状はないが、家族等に風邪症状が見られる場合
- 上記の場合は、出席停止となり、欠席にはなりません。



☆遠足では、身体的距離を確保し、手洗い、消毒を徹底し、昼食場面では同方向に座って食事するなど感染対策をしていきます。

☆社会見学では、公共交通機関を利用せず換気機能のある貸し切りバスを利用し、感染症対策をしていきます。また見学地等での感染症対策を確認し、子どもたちにも指導し、活動をしていきます。

☆学校内での教科指導について、感染症対策を講じてもお感染リスクの高い活動については、換気・身体的距離の確保・感染対策の徹底を行ったうえでも慎重に判断していきます。

(対面でのグループワークやリコーダー、鍵盤ハーモニカ演奏、調理実習や体育での密集した活動など)

☆体育等での活動中はマスクを外しての活動する場面もありますが、身体的距離の確保や会話を控えるように指導を徹底していきます。

## 認証式・1年生を迎える会

4月27日(水)2限目に認証式と1年生を迎える会を行いました。計画当初は全校で体育館に集まり実施する予定でしたが、感染状況を考慮し、体育館には6年生と5年生の代表委員が集まり、1年生を認証式と1年生を迎える会を行いました。2年生から5年生までは教室でZoomでの参加となりました。

認証式では各委員会の委員長・副委員長に認証状を手渡しました。各委員会ではすでに活動が始まり、学校をよりよくするために各委員会ではすすんで活動に取り組んでくれていて、頼もしく感じます。これからも学校をよりよくするために積極的に仕事に取り組んでほしいと思います。代表委員会の認証は5・6年生各クラスから選出された代表委員に認証状を手渡しました。昇降口でのあいさつ運動で全校に元気な挨拶をするように率先して活動に取り組んでいます。高学年として各委員会で全校のモデルとして積極的にいい姿を見せて、河原田小学校を引っ張ってほしいと思います。

1年生を迎える会では、体育館に入場してきた1年生を一人一人代表委員会の子どもたちが紹介しました。1年生も入学して約1か月。教室で自分の思いを少しずつ発表できるようになってきました。集団登校では、長い道のりを重いランドセルを背負って登校する姿が大変そうでしたが、今ではみんなと一緒に元気に登校できる姿が見られるようになってきました。全校児童322名がこれから、みんなで楽しく学校での活動ができるよう協力して取り組んでいきたいと思っています。

オンラインでの集会となりましたが、画面から大きな拍手が聞こえ、みんなで1年生を歓迎している様子が現れた集会となりました。



1年生の入場(左) 1年生を迎える会の運営をする代表委員さん(中)  
2年生からのプレゼントのメダルを1年生の代表にかけました(右)

## 折り合いをつける

前任校でよく使われていた言葉で「折り合いをつける」という言葉があります。こだわりの強い子どもとかかわる保護者や教職員がどこまで譲歩したり妥協したりしながら、生活習慣を身につけさせたり、学習活動に取り組んだりさせていくことを大切にしてきました。

河原田小学校でもそのような姿が見られています。集団登校で低学年の子どもたちが口々に主張していることを上級生が受け止めながら、互いの妥協点を探しかつ、安全に登校できるように並び方を変えながら登校している様子が見られました。

人間関係を構築することにおいては、「折り合いをつける」ことは大切になります。互いの思いを理解し、尊重しながらも互いの妥協点を探っていくことは、みんなが気持ちよく過ごすことにもつながります。

コロナ禍での教育活動が続いていますが、お互いの思いを聞き合い、尊重し合うことを大切にしながら教育活動に取り組んでいきたいと思っています。

